

GEIBUN10

富山大学芸術文化学部・大学院芸術文化学研究科 卒業・修了制作展

富山大学芸術文化学系准教授 伊東 多佳子



■開催概要

2010年に全国でも類を見ない公立美術館の企画展として始まった富山大学芸術文化学部の卒業研究制作展。10回目を数える2019年は、開催当初からの展示美術館である高岡市美術館において、「GEIBUN10 富山大学芸術文化学部・大学院芸術文化学研究科卒業・修了制作展」として、芸術文化学部卒業生102名、芸術文化学研究科修了生9名による総作品数111点の油画、日本画、彫刻、メディア芸術、金属工芸、漆工芸、家具、クラフト・デザイン、ジュエリー、ヴィジュアル・デザイン、プロダクト・デザイン、コミュニケーション・デザイン、建築意匠、建築保存・再生、建築環境・設備、建築意匠論、人間工学、美術史、美学、文化研究、景観研究、まちづくりなどの卒業・修了研究制作を一堂に展示し、その成果を示しました。

総合大学の中にある芸術系学部ならではの多角的な視点を持った、若さあふれる作品群を、従来のジャンルの枠を取り払い、ジャンルの異なるものの混成の中に融合的な思考が感じられるように、展覧会全体を、多様性の中のきらめきを表現するインスタレーションとして構成しました。

■展覧会場

高岡市美術館 第1、第2、第3展示室および地階市民ギャラリー、ビトークホール（〒933-0056 富山県高岡市中川1丁目1番30号）

■展覧会期

2019年2月9日（土）～2月24日（日）
オープニングは2月8日（金） 14日間

■主催

富山大学芸術文化学部卒業・修了制作展実行委員会（富山大学芸術文化学部、公益財団法人高岡市民文化振興財団・高岡市美術館）

■共催 高岡市、高岡市教育委員会

■後援

富山県、富山県教育委員会、高岡商工会議所、高岡市美術館友の会

■協賛

高岡短期大学・富山大学芸術文化学部同窓会「創己会」

■関連イベント

○オープニング・セレモニー セレモニーと併せて、Geibun Prize 2019 受賞式（本展に出展された作品及び論文の中から優れたものに与えられる賞）、富山大学芸術文化学部生の企画によるGEIBUN10の見どころ紹介と内覧会

2月8日（金）午後3時 高岡市美術館ビトークホール

○プライズ・トーク

Geibun Prize 2019受賞作について、武山良三学部長と受賞学生によるギャラリー・トーク

2月10日（日）午後1時 高岡市美術館企画展示室、市民ギャラリー

○公開プレゼンテーション

GEIBUNの粋-大学院特別研究最終発表会

2月10日（日）午前9時30分～午後4時30分（高岡市美術館ビトークホール）

豊かさのかたち 2月14日（木）、15日（金）午前10時～午後4時30分（高岡市美術館展示室、ビトークホール）

デザイン工芸コースの学生による公開プレゼンテーション

私たちが創り出した「こたえ」2月14日（木）午後1時～午後4時（高岡市美術館展示室、市民ギャラリー）
デザイン情報コースの学生による公開プレゼンテーション

○ゲストトーク

2月9日（土）「過去の自分と未来で出会うこと」

-雑誌編集という仕事- 本信光理（MdN編集長）

2月11日（月）（祝）「美術作品は語る」千住博（日本画家）

2月16日（土）「交通線上のアート」篠原資明（哲学者、詩人、美術評論家）

2月17日（日）「私の発想の種の拾い方」大森謙一郎（プロダクト・デザイナー）

2月23日（土）「資源的人の建築」塚本由晴（建築家、東京工業大学教授）

■卒展の魅力を表現するために

展覧会の構成は、キュレーター委員会展示計画班により何度も議論を重ねた上で入念に計画されました。一般的な展覧会と違って、この卒展は作品提出の翌日が搬入準備というスケジュールで行われるため、作品を実際に



見るのは、搬入されてからという極めてアクロバティックな作業が要求されます。

前回に引き続き、従来のジャンル別展示をやめ、様々な作品や論文を混合させる展示に加え、今年度から新たに導入した天井からのパナーと数個の壁付モニターによる変化に富んだ空間構成と、本展覧会のために特別に製作した高さの異なる専用テーブルによる建築模型展示など、さまざまな工夫をこらした取り組みを行いました。また、作品のビハインド・ザ・シーンをより生き生きと伝えるためのQRコードの導入を昨年引き続き行い、観客に楽しんでもらう仕掛けを施す展示にしました。そのためもあって、評判もきわめてよく、来館者数は5,270名と前年度より増加しました（前年度4,804名）。昨年度から新たに始まった学部による顕彰制度、Geibun Prize 23点と様々な分野の第一線で活躍するゲスト5名によるゲスト賞16点も合わせて掲示することで、学生たちにとって大きな励みとなる展覧会になったと思います。今後の芸術文化学部の展開を期待させるような展覧会になりました。

■運営組織

○富山大学芸術文化学部卒業・修了制作展実行委員会

顧問：遠藤俊郎（富山大学長）、高橋正樹（高岡市長）

参与：川村人志（高岡商工会議所会頭）

委員長：武山良三（富山大学芸術文化学部長）

副委員長：伊東多佳子（富山大学芸術文化学部准教授）

福田直之（高岡市市長政策部長）

委員：西島治樹（富山大学芸術文化学部准教授）

宮崎晃一（公益財団法人高岡市民文化振興事業団事務局長）

大野洋靖（高岡市市長政策部文化創造課長）

杉森芳昭（高岡市教育委員会生涯学習・文化財課長）

村上隆（高岡市美術館長）

監事：田村修一（富山大学芸術文化学部総務課長）

関野正弘（高岡市美術館副館長兼管理課長）

○担当学芸員 宝田陽子（高岡市美術館主査学芸員）

○キュレーター委員会

顧問：村上隆（高岡市美術館長）

委員長：伊東多佳子（富山大学芸術文化学部准教授）

副委員長：西島治樹（富山大学芸術文化学部准教授）

委員：瀬尾千秋（高岡市美術館学芸課長）、宝田陽子（高岡市美術館主査学芸員）【展示計画班】上原雄史（富山大学芸術文化学部教授）、高島圭史（同、教授）、内藤裕孝（同、講師）、三宮千佳（同講師）【イベント班】萩野紀一郎（同、准教授）、平田昌輝（同、講師）【プレス・PR班】有田行男（同、准教授）、小川太郎（同、講師）
学生委員：松本真奈、寺島大貴、王柯翔（富山大学大学院芸術文化学研究科2年）水口真佑、山口真奈、山田千晶、（同、芸術文化学部造形芸術コース4年）、貝塚悠乃、高橋由莉、高橋匠、堂端風伽、湯澤花菜、渡辺貫太、上杉汐里（同、デザイン工芸コース4年）高橋里沙、高森美帆、松崎真凜、山下斐子、村井美月、山岸夕莉（同、デザイン情報コース4年）、山部浩樹、高橋智章、藤澤匠、吉田葵、本林真奈（同、建築デザインコース4年）、広田晴南、米沢空、濱田楓、國奥舞子、佐々木真美（同、芸術文化キュレーションコース4年）吉田早希、和田穂波、森岡志帆（同、造形芸術コース3年）樋口琴、栗井咲佳、岡本仁美、水沢卓生、渡辺陽子、奥川夏音（同、デザイン工芸コース3年）寺本真志帆、斎藤朱里、鈴木ひかり、戸井田夏子、丸山桂林（同、デザイン情報コース3年）、加味根みのり、田中聡一郎（同、建築デザインコース3年）、井上あかり（同、芸術文化キュレーションコース3年）

事務局：羽鳥良斉、魚津朋恵、新開左和子（富山大学芸術文化学部総務課総務・研究協力チーム）、小林法子（高岡市美術館主事）



